

需要獲得

サービス

# 大和フロンティア株式会社

宮崎県都城市

## 放置竹林を減らし、飼料・肥料に活用 「笹サイレージ」で地域資源循環型事業を進める

同社は、畜産が盛んな宮崎で畜産敷料、飼料を生産する木材加工業者である。地域資源である「竹」を活用した、利用価値の高い家畜飼料「笹サイレージ」の製造・販売を行う。全国初となる量産化設備を有し、材料の調達から加工・販売までを一貫して行う製造販売モデルは他に類をみない。全国的に問題となっている放置竹林の解消にも取り組むべく、自治体とも連携しつつ無償で竹の伐採を行い、それを笹サイレージの原料としている。笹サイレージの製造を通じ、農畜産業の発展と放置竹林解消の両立をめざしている。

所在地 宮崎県都城市高崎町大牟田4213-2  
 電話/FAX 0986-21-0151/0986-21-0135  
 URL <https://www.yamato-frontier.co.jp/>  
 代表者 代表取締役 田中 浩一郎

設立 2005年  
 資本金 1,000万円  
 従業員数 15人



### 今までにない万能飼料「笹サイレージ」の普及を通じ、農畜産業の発展に貢献

同社が生産する笹サイレージは、竹をパウダー状に粉碎し糖蜜と発酵促進剤を混ぜ合わせ40日間発酵させることで完成する。栄養素が豊富で嗜好性が高く、給与された家畜は臭みのない柔らかい肉質に仕上がる。笹サイレージを与えた豚肉が賞を獲得するなど、輝かしい実績を残している。乳酸菌を多く含み、腸内環境を改善するため、豚舎の臭いが軽減されるという特徴も持つ。また、農業分野においては、竹有機肥料としての土壌改良材、品質向上、生育向上、収穫量向上などがあり、さまざまな作物に効果をもたらしている。



笹サイレージで育つ観音寺ポーク

### 自治体との協力で、地域未利用資源「竹」が地域有効資源に生まれ変わる

宮崎県では竹材の生産量は少なく、放置竹林が散在していた。同社は放置竹林の減少をめざし笹サイレージの量産化に着手。無償で竹を伐採し製品化に繋げる同社の取組は、放置竹林の解消と未利用資源の活用が同時に可能となり高い評価を受けている。同社は都城市、三股町、鹿児島県曾於市、さつま町と包括連携協定を結び、市・町が竹の伐採を斡旋することで放置竹林の解消をめざし、原料の安定的確保を実現した。また、市・町より販路開拓の支援も受けることが可能となり、地域有効資源としての活用が期待されている。



都城市との包括協定締結

### 独自の技術開発で一貫生産体制の実現を果たし、設備輸出をめざす

笹サイレージの生産にはまず竹を粉碎する必要がある。竹は繊維質が多く通常の粉碎機では裁断ができないため、同社の持つのこず加工のノウハウを応用することで、新たに竹専用の粉碎機を開発した。また、生産した笹サイレージをロール状に固め、専用のラッピングマシンで独自の梱包法を開発して特許も取得、材料調達から製品の出荷まで全て同社内で行う一貫生産体制の実現を果たした。台湾政府からの視察を受け、笹サイレージ一貫生産設備を輸出して、台湾の放置竹林の解消に繋げる計画を進めている。



特許取得の笹サイレージ製造方法

需要獲得

サービス